

常任理事会だより

山川智之

本稿では、前号で報告後、平成 28 年 7 月 25 日、9 月 30 日、10 月 21 日に開催された計 3 回の常任理事会の主な内容をお伝えするとともに、日本透析医会の主な活動についてご報告します。

1. 熊本地震の対応

2016 年 4 月に発生した熊本地震についての対応については、本号で特集とさせていただきました。日本透析医会では透析施設等の支援のために募金活動を行ってまいりましたが、関係各方面より多大なご支援を賜り、総額 62,860,343 円の支援金をお預かりさせていただきました。支援金の配賦については、現地視察なども参考に被災施設の修繕に多額の費用を要することを勘案、熊本県透析施設協議会に厚く配分させていただくことになりました。詳細につきましては、本号掲載の拙稿をご参照頂ければ幸いです。

2. 日本透析医会研修セミナー等について

平成 28 年 11 月 6 日（日）、リーガロイヤルホテル広島において、日本透析医会研修セミナー「透析医療における Current Topics 2016（広島開催）」を、主題を「日常臨床のピットフォール」として開催しました。秋の研修セミナーは日本透析医会の活動の周知、地方組織の先生方との交流も期待して地方開催としていますが、213 人と多数の参加をいただきました。誠に感謝申し上げます。

今回は、平成 29 年 5 月 21 日（日）に日本透析医会総会と同時開催で、東京で研修セミナーを開催します。また来年の秋の研修セミナーはなく、平成 29 年 10 月に日本透析医会創立 30 周年記念講演会を開催予定にしております。詳細につきましては後日ご案内させていただきます。

3. 透析医療費実態調査について

毎年、透析医療費の動向を知り、厚生労働省との診療報酬に関する交渉における基礎資料として活用させて頂いている透析医療費実態調査は、全国の約 200 の会員施設等のレセプトから分析しておりますが、これまで紙ベースでのレセプトを手作業で解析していたものを、今年の調査より試験的に電子レセプトによる解析を開始しました。調査を御願っている施設におきましては、今回調査の手間が増えることになり大変申し訳なく思っておりますが、電子化への移行は概ね順調に進んでおります。ご協力に心より感謝申し上げます。